

べっぴ

市議会だより

2008.8.1

No.

88

暑中お見舞い申し上げます

花言葉「明日もさわやかに」

「青山中学校北教室棟耐震補強等、 工事請負契約の締結」など可決！

CONTENTS

P 2～4 議決内容ほか

P 5 議案質疑「地域保健センター整備に要する経費について」
「スマートインターチェンジ普及促進に要する経費について」

P 6～11 一般質問（17人が市政を問う）

P 12 永年勤続市政振興功労者表彰 ほか

議決内容

6月定例会は、初日に継続審査中の議第30号と請願第1号について、所管の委員長より審査の経過と結果について報告がなされ、採決の結果、議第30号においては原案のとおり可決、請願第1号においては不採択とされました。続いて、補正予算や条例案件など13件の議案が上程され、市長の提案理由の説明に対する質疑の後、所管の常任委員会へ付託され審議されました。これらの議案は、最終日に所管の各委員会の委員長より審査の経過と結果について報告がなされ、すべて原案のとおり可決・承認されました。

また、市長から副市長の選任のほか計11件の人事案件が提案され、すべて原案のとおり同意されました。

継続審査

◎ 議第30号「別府市立学校の設置及び管理に関する条例の一部改正について」

(原案可決)

野口・北小学校統合に関する議第30号については、3月定例会において継続審査に付されましたが、4月7日及び5月28日に総務文教委員会を開会し、慎重に審査を行いました。その間、4月15日の野口校区、4月23日の北校区において開催された教育委員会の説明会に、委員会委員として傍聴し、また、5月14日、15日に東京、埼玉と、行政視察を行い議論を重ねました。その結果、附帯決議を付し、賛成者多数で可決されました。

附帯決議

1. 6月定例会終了後、直ちに市内全域を含めた統廃合及び通学区等検討委員会(仮称)を設置し、懸案となつていいる旧市街地校区内の中学校再編を最優先としながら、今後における第三期の校区再編計画(案)を一旦白紙に戻した上で、十分なる協議を行い、市内全域を見据えたよりよい学校適正化の方向性を模索するため、さらなる検討を重ねること。
2. また、市内各校の跡地問題については、教育委員会だけに任せるのではなく、当該地の活用計画は行政が責任を持って、地元活性化に資するための跡地利用計画案を策定し早期に地元住民に示すこと。

◎ 請願第1号「えびすや跡地の分譲マンション建設反対に関する請願」

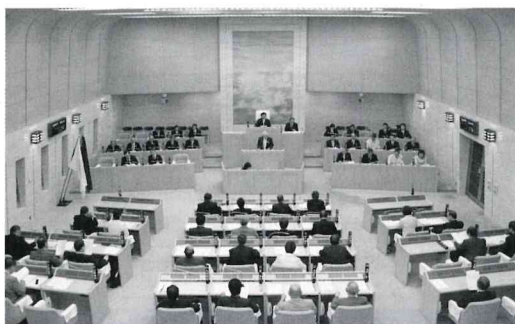
(不採択)

3月定例会において継続審査に付された請願第1号については、4月18日に建

六月定例会会期の経過

- 6月3日 議会運営委員会
- 5日 本会議(継続中の議第30号に対する委員長報告、討論、表決、継続中の請願第1号に対する委員長報告、討論、表決、議案上程、提案理由の説明)
- 9日 本会議(議案質疑・委員会付託)
- 11日 本会議(一般質問)
- 12日 本会議(一般質問)、議会運営委員会
- 13日 本会議(一般質問)、議会報・ホームページ運営委員会
- 16日 各常任委員会
- 20日 議会運営委員会、本会議
(上程中の全議案に対する委員長報告、討論、表決)

設水道委員会を開会し、請願代表者、市当局説明員に出席を求めました。双方の意見、説明を聞き、鋭意審議した結果、住民の要望は理解できるが、請願の願意の実現は、現行法制上難しく「今回の請願の審査にあたり、今後も同様の問題が



6月 定例議会風景

生じる恐れがあるので、行政当局において紛争調停システムの確立を強く要望する。」との意見を付し、不採択と決しました。

補正予算

◎ 平成20年度別府市一般会計補正予算 (原案可決)

今回補正する額は、920万円で、これを既決予算に加えると総額407億9千920万円となります。

衛生費では、防衛省共済組合の元保養所「スパシオン別府」の跡地に「別府市地域保健センター」(仮称)を設置するための事前調査等に要する経費を計上しています。

観光費では、8月にヤフ

ードームで日田市と共同で実施する「福岡宣伝事業」と10月に公開予定の映画「釣りバカ日誌19」のロケ支援委員会に対する負担金、別府湾サービスエリア下り線において社会実験が開始されるスマートインターチェンジのPR活動や観光案内板設置に要する経費を計上しています。

土木費では、スマートインターチェンジへのアクセス標識板等の設置に要する経費を計上しています。

◎ 平成20年度別府市老人保健特別会計補正予算 (原案可決)

今回補正する額は、40万8千円で、前年度事業費の精算に伴う返還金を計上しています。

これを既決予算に加えると、特別会計予算の総額は、482億8千949万4千円となります。

条例の一部改正

◎ 別府市手数料条例の一部改正について (原案可決)

地方公共団体の手数料の標準に関する政令の一部を改正する政令(平成20年政令第48号)の施行により、戸籍法第126条の規定に基づく事務につき手数料を徴収することに伴い、条例を改正するものです。

◎ 別府市保育所の設置及び管理に関する条例の一部改正について (原案可決)
内電保育所の建て替えの

間、他の場所で保育を行うこと等に伴い、条例を改正するものです。

◎ 別府市消防団員等公務災害補償条例の一部改正について (原案可決)

非常勤消防団員等に係る損害補償の基準を定める政令の一部を改正する政令(平成20年政令第68号)により、補償基礎額の加算額の改定に伴い、条例を改正するものです。

その他

◎ 工事請負契約の締結について (原案可決)

青山中学校北教室棟耐震補強・大規模改造工事に伴い、工事請負契約を締結するものです。

◎ 市長専決処分について (承認)

平成19年度別府市一般会計補正予算

副市長の就任

次の方が、6月20日の本会議において、副市長に同意されました。

友永 哲男(新任)

昭和22年5月11日生

(経歴)

平成15年7月

企画財政部長

平成17年4月

総務部長

平成20年3月

別府市退職

平成20年4月

別府市社会福祉協議会

常務理事

◎ 市長専決処分について

(承認)

平成20年度別府市国民健康保険事業特別会計補正予算

◎ 市長専決処分について

(承認)

地方税法の一部を改正する法律（平成20年法律第21号）の施行に伴い、別府市都市計画税条例の一部を改正するものです。

◎ 市長専決処分について

(承認)

平成20年度別府市老人保健特別会計補正予算

◎ 市長専決処分について

(承認)

別府市国民健康保険条例の一部を改正する条例は、

◎ 市長専決処分について

(承認)

別府市税条例の一部を改正する条例は、地方税法等の一部を改正する法律（平成20年法律第21号）の施行により、個人の市民税についての寄付金控除の拡充と、

◎ 市長専決処分について

(承認)

納税の便宜や徴収の効率化を図る観点から、個人市民税を公的年金から天引きする、特別徴収制度を導入するものです。

◎ 市長専決処分について

(承認)

固定資産評価委員の選任

人 事

次の方が、6月20日の本会議において、それぞれの委員に任命等の同意がなされました。

○ 別府市、別府速見地域広域市町村圏

事務組合公平委員会委員

松本 洋子 (再任)

高山 進 (再任)

佐藤 靖彦 (再任)

○ 監査委員

櫻井美也子 (再任)

○ 別府市固定資産評価審査委員会委員

安部 朝男 (再任)

高橋 進 (再任)

○ 別府市職員懲戒審査委員会委員

中野 義幸 (新任)

○ 人権擁護委員

藤井 久子 (再任)

池部 光 (新任)

早野 伸 (新任)

意 見 書

議員より意見書3件が提出され、1件が可決されました。

可決された意見書は直ちに関係機関へ送付されました。

●地球温暖化防止に向けた国民的運動の推進を求める意見書 (原案可決)

●米価の安定対策を求める意見書 (原案否決)

●後期高齢者医療制度の廃止を求める意見書 (原案否決)



議案質疑

議案質疑は、執行部が提出した予算や条例などの議案に対し質疑を行います。

6月9日に5名の議員が行いましたが、そのうち主な質疑内容を掲載します。

地域保健センター整備に 要する経費について

問 地域保健センターの整備について説明願いたい。

答 健康相談や健康診断などを実施することにより、生涯を通じての別府市民の健康づくり対策の拠点となる「別府市地域保健センター」(仮称)を西野口町の防衛省共済組合保養所「スパシオン別府」跡地に設置するため、土地取得のための土地鑑定手数料や建物内の設備機器等を調査する経費を計上しています。

問 センターの出入り口と駐車場についてお聞きたい。

答 出入り口は、現在富士見通り側1カ所だけですが、別府公園の横通り側からの出入り口についても関係機関と協議のうえ、設置したいと考えています。

駐車場については、改修により、約60台程度駐車が可能となります。

問 保健センター開所後は、健診などすべてセンターで行うのかお聞きたい。

答 健診の種類や対象者に応じて、新しい保健センターで行う方が効果のあるものはセンターで、地域で行う方がよい健診などは地域に健診車等を出して対応していきたい。

問 介護予防として、センター内に温泉を利用した水中運動のできる施設を整備する予定はあるかお聞きたい。

答 予定地には、既存の泉源がありますので、今後検討していきたいと考えています。

地域保健センターとして
利用される予定の旧スパシオン別府



問 医療関係者との連携についてお聞きたい。

答 医師会、歯科医師会、薬剤師会には、「保健センター建設基本構想検討準備委員会」にご参加いただいています。今後は、できるだけ多くの方々の意見も伺ってまいりたいと考えています。

スマートインターチェンジ 普及促進に要する経費について

問 スマートインターチェンジ関連の経費について説明願いたい。

答 今夏から、別府湾サービスエリアにおいて、ETC専用のスマートインターチェンジの社会実験が開始されることに伴い、経費を計上しています。

問 社会実験についてお聞きたい。

答 スマートインターチェンジ

を実験的に導入して、機械の状況、交通渋滞、導入の効果等のデータを収集し、そのデータを検討し、本格的な運用にもっていきたいと考えています。

問 関連経費の内訳について説明願いたい。

答 スマートインターチェンジの利用者を誘導するため、市道に誘導案内標識板を設置するための工事費と利用促進のためのチラシやポスター、案内看板の作成等のPR活動費です。

※スマートインターチェンジとは、ETC(自動料金支払システム)車両のみ乗り降りできるように設置されるインターチェンジです。



本年度は給料を増額したが、今後も改善に努めたい。

介護保険住宅改修と 策定委員会

日本共産党議員団

野田 紀子 議員

問 介護保険による住宅改修費負担は改修費を利用者が全額払い、市に申請して9割を返してもらった償還払いである。年金暮らしには負担が重すぎる。最初から1割払う受領委任払いにすべきだと思うが、どうか。

答 原則償還払いであるが、他市の状況等を調査したい。

問 支給限度額20万円の負担は大きすぎる。階段や風呂に手すりをつければ、転倒や寝たきりを防げる。受領委任払いを実施するべき。

答 今後の検討課題として、前向きに取り組みたいと考えている。

問 今年度は介護保険策定

委員会が始まる。養護老人ホームの増床について、市は9月議会答弁で、増床の要望をするとのことだったが、どうなるのか。

答 現在までの第3期事業計画の検証、生活圏別の特性把握や分析等を行ない、その結果による。

問 介護保険制度が始まって8年。介護に関するどんな要望があっても常に「策定委員会に諮って」との答弁になる。高齢者の介護をどうするか計画が決定される重要な委員会であるのに、傍聴も許されない。第4期からは、委員会の傍聴を許可し議事録も公開して、市民の声に耳を傾ける策定委員会となることを強く要望する。

コスモピア問題 について

自民党議員団

長野 恭紘 議員

問 平成10年当時、市の第三セクターであった別府

商業観光開発公社は約66億円もの負債があり、それを約40億円でコスモピア部分の施設を㈱トキハに譲渡し、各金融機関には約5億円の債権放棄をお願いし、残りの負債を市が損失補償するという形で乗り越えた。今年度末がその契約の期限となっているが、㈱トキハとの契約上、コスモピア部分の底地を㈱トキハに譲渡する際に、逆に市が㈱トキハへ返金しなくてはならない事に計算上どうしてもなってしまう。今まで㈱トキハは誠意を持って9年間契約を履行してくれた。市も誠意を持って、この契約の最終年度、速やかに履行すべきだと思うがどうか。また地元三行庫への補償と㈱トキハへの返還金を合わせて14億円弱になると思うが、その返済する際の財源はどうなるか。

答 速やかに9月議会へ予算計上する為の準備を進めており、財源は既に基金として準備しており、金として準備して対応するので、誠意を持って対応して参りたい。

市民体育大会の あり方について

自民党議員団

河野 数則 議員

問 今年の市民体育大会は、9月7日の日曜日に開催されることになったが、その経緯は。

答 9月11日から開催される国体の関係で、県民体育大会が6月開催、学校や地区の運動会も5、6月開催となり、また国体終了後は、全国障害者スポーツ大会、農業祭、水産振興祭と行事が予定されているので、9月7日に決定しました。

問 昨今の参加者の平均年齢はどれくらいか。

答 約60歳前後であると思われる。

問 参加者の平均年齢が上がっているうえ、9月の平均気温が30度を超す炎天下での競技は、事故を招く恐れが多大である。今大会を中止にしてはどうか。

答 暑い最中なので、種目を含めて関係者と協議したいと考えています。

問 本来、市民体育大会の趣旨は、市民総参加であるべきだが、年々参加者が少なくなっている。毎年各校区体協は、人集め等に苦労しているのが現状である。今後は、各地区ごとに競技を行うなど市民体育大会のあり方を検討すべきではないか。

市営住宅の入居条件 について

公明党

堀本 博行 議員

問 年に何度も申し込むが、なかなか当たらない方がいる。抽選時の優遇措置として申し込み回数での優遇的な配慮は出来ないか。北九州市では、落選回数に応じて、自分の番号を2個から最高6個まで複数持つことで、当選しやすいように配慮がされている。別府市でもこの様な優遇措置を検討してはどうか。



答 抽選についての優遇措置については、議員の言われるとおり住宅の申込者から「何回も申し込んでいないが、なかなか当選しないので優遇措置はないのか」という問い合わせは来ています。現在の抽選方法としては、初めに申込者全員に抽選器を回していただき自分の番号を決めてもらっています。そして、全員の番号玉を抽選器に戻し、代表者に抽選をしていただき、出た番号玉が自分の番号と一致された方が当選者となります。抽選に外れた方は次回にも応募があるケースが多く、何回も応募されており、本当に

お困りであると認識しています。中には10回以上も申し込みをしている方もおられます。こうした状況を考慮して、申し込み回数が多い方には自分の番号を複数持つことにより当選確率が高まるような方向で、現在検討作業に入っております。

5歳児の保育所 通所の問題点？

市民の声クラブ

池田 康雄 議員

問 平成20年度の小学1年生入学児童の20%、ほぼ2割の子どもたちが公立、私立の幼稚園ではなく公立、私立や無認可の保育所から入学している。元来、日本の幼児・初等教育は、幼稚園から小学校への入学を前提に行われているのではないのか。このことが、小学校低学年の教育に影響を及ぼしていないのか。また、そういうプロセスを経て入学した児童が入学後に困っている状況ではないのか。速やかにこの視点で学校

現場で点検をして欲しい。また、同時に教育委員会と児童家庭課において、どうして5歳児の保護者が子どもを幼稚園ではなく保育所に通園させているのか、調査をし実態を把握すべきと考える。

答 学校教育課も児童家庭課も早速調査し、実態を把握してみたい。

問 一般国体後の全国障害者スポーツ大会の日程が学校の休日と重なり、児童の参加が困難な状況にあるが、各種スポーツ大会の最高のおもてなしは大勢の観客である。また、この機会は障がい者や障がい者スポーツの理解を深める絶好のチャンスでもある。その意味でも、児童の参加は検討に値すると思うが教育委員会はどういう認識か。

答 大会への応援等の参加は児童にも有益で校長会と検討してみたい。

指定管理者制度、 ごみ減量化推進について

市民クラブ

加藤 信康 議員

問 施設の安全管理は、協定書や報告書だけでは不十分だ。随時の立ち入り検査や実態調査、監査が必要と思うが市の考えは。

答 埼玉県ふじみ野市のプール事故に対する有罪判決は、行政、担当職員への警鐘と受け止めている。施設の安全管理は随時又は定期的な立ち入りが必要と考えており、今後安全管理面のチェックを喚起していく。



問 この制度の目的を達成するためには、企業の意欲を保ちながら、市が常に監視する必要がある。担当課任せや指定管理者任せにならないよう、常に問題点を共有する体制が必要ではないか。

答 利用者の情報や問題点の共有に努めているが、今後も定期的に情報交換できる体制づくりを検討する。

問 別府市のごみ減量計画はどうなっているか。

答 平成28年度までに市民1人あたり1kg以下、全体で19.2%の削減を目指している。

問 リサイクル情報センターの将来ビジョンをどう考えているのか。

答 市民へのごみ問題の啓発拠点、学校教育におけるごみ学習の場、リユース・リサイクルの実践の場など体験型施設として充実強化していきたい。

学校耐震化と 温暖化対策の促進を

日本共産党議員団

平野 文活 議員

問 別府の学校施設耐震化は、全国平均から県平均よりも遅れている。早急な耐震化をすすめるべきだ。

答 小・中学校で耐震化が必要なのは37棟。これまでの整備計画を全面的に見直し、大地震で倒壊の恐れがある校舎2棟、体育館8棟を最優先に、残り27棟も含めて100%の耐震化をめざし、財政当局に働きかけたい。

問 地球温暖化対策としてのCO₂削減は急務であり、大分市は毎年1%削減目標を掲げているが、別府市はどういう計画か。そのためにも、分別の促進によるゴミ減量化が必要だが、その計画はあるか。

答 別府市のCO₂削減目標は現時点では無い。今年度中に策定する。ゴミ減量化は事業系一般廃棄物も

含めて平成28年度までに約19.2%削減する長期目標がある。

問 コスモピアの破たん処理で市民の血税を約50億円もつぎこむことになる。その責任は誰がとるのか。

答 歴代の市長が決断し、またそのときどきの議会の承認も受けているので、責任を問うことはできない。

市立図書館について

自民党議員団

乙 咩 千代子 議員

問 旧南小学校跡地活用整備計画（案）において、市立図書館整備とありますが、本館又は分館のいずれを検討されているのでしょうか？

答 跡地活用整備計画（案）の基本方針として南部地区の活性化を図るため、既存の公共施設と学校跡地の活用整備を一体的に推進する計画案であり、現在の図書館を学校跡地

に移転整備するもので、本館と考えております。

問 図書館には、子ども読書活動推進のための取り組みとして読み聞かせ等がありますか、当市の実態はどのようになっていますか？

答 市立図書館では、小学校低学年を対象とした「おはなしの会」があり、本年度は毎月第2土曜日に実施することとなっています。

問 障がいのある子どもたちが利用できる環境は、整っていますか？

答 点字絵本と手話の本を



旧南小跡地に移転が計画されている市立図書館

置いていますが、充分ではないと考えております。

問 年間の祝日休館、特にゴールデンウィークの休館についてのお考えをお聞かせ下さい。

答 ゴールデンウィークの運営につきましては、利用者ニーズの把握に努め、実際の利用把握のため、臨時的、試験的な開館を検討しております。

子育て応援団の 推進について

公明党

市原 隆生 議員

問 「おおいた子育て応援団」については、県の委託を受けたNPO法人が運営をしているとのことだが、子育て家庭に対するサービスを提供する『とくとくショップ』の協賛店舗数が、いまだに20数軒程度とのこと。先日、行政視察で伺った静岡県焼津市では、別府市と同じ人口規模で、130もの協賛店が登録されていた。

答 そして、この数字は静岡県内では少ない方だという。人口10万人程度の自治体で、300近い協賛店を集めているところもある。この差はどこから来るのか。少子化にストッパーをかけるような子育て支援を本気でやっているとは思えない。県のホームページでの扱いについても発足の当時は、大変に分かり易く掲載されていたが、現在では、そのページを容易に見つけることができない。別府市内の協賛店については、別府市のホームページで地図なども付けて紹介することはできないのか。また、改善が進まない時には、別府市独自の「子育て支援事業」として進めることはできないのか。

答 実施機関である大分県に要望すると同時に、別府市としても何ができか研究し、考えていきたいと思います。



南小跡地の活用、 周辺地域の環境管理

自民党議員団

国実 久夫 議員

問 旧南小学校跡地利活用計画について、その後の進捗状況は。

答 旧南小学校及び旧南幼稚園跡地活用の市の方針として、南部地区の活性化を推進するため、南部地区の既存の公共施設と学校跡地を一体的に整備し、その手法としてPFIの導入を目指す。そのPFI事業の円滑なる推進を図ることを目的に、庁舎内の跡地活用検討委員会を設置し、去る4月21日にPFI協会の理事長を講師に招き、事業関係職員を対象に研修会を行い、理解の共有を深めた。また、5月からは個別ヒアリングを実施し、施設の規模、内容及び用途、管理運営の方針等について協議を進めている。今後は、事業の可能性の実施に向けた取り組みを進めていきたい。

問

南小跡地の東側市道沿いの一部に側溝が無く、雨水がたまるため地元住民から側溝整備の要望があるが。

答 雨水がたまる箇所については、暫定措置として舗装の打ち替えで勾配を取り、排水処理に対応したい。

問

朝見川沿いの校庭の樹木が剪定されていない。また、ネット等が壊れかけているが、小学校の通路でもあり非常に危険である。管理を徹底せよ。

答

樹木については、随時業者に剪定業務を発注していきたい。また、ネット等については早急に改修し、周辺の環境管理に努めたい。

スポーツ観光と 町づくりについて

自民党議員団

黒木 愛一郎 議員

問 スポーツ観光は、観光

立市の大きな柱ですが、市長の見解は？

答

スポーツ観光は、大きな柱と考えています。

問

アリーナの経済効果は大きいのですが、今後、施設の維持管理と充実をどのようにお考えですか？

答

国体に向けて、補修工事等を行い、作業を進めて行きます。

問

市民球場について、色々な問題が指摘されていますが、対処の方法は？

答

防球ネット、ナイター照明、外野部分等の問題点については、スポーツ

施設整備庁内検討委員会を立ち上げ解決に努力します。

問

高校野球の開催の拠点としていける事を要望します。その他のスポーツ施設についてのお答えをお願いします。

答

その他のスポーツ施設についても、市民のスポーツ振興に向けて努力します。

問

自治会の行事に向けて、市職員の参加はどのようになっていますか？

答

現在20名の職員が消防団に加盟するなどがなっています。

問

意見として、今後も職員の参加を望みます。自治会への参加をお願いします。また、現在参加している職員への激励をして欲しいと願います。



振興センターへの 管理委託について

行財政改革クラブ

泉 武弘 議員

問

別府市は、総合振興センターにスポーツ施設など4箇所を競争の無い「任意指定」で管理委託している。管理料は20年度2億1千748万円となっている。センター職員給与は500万円、600万円未満が9名、600万円〜700万円が8名となっている。管理者を「公募」せずセンターだけを任意指定することで管理料が割高になっていると思うが見解を求めます。

答

管理料の問題については検証ができてないので判断が難しい。

問

来年は管理者の更新があるがどうするのか。

答

まだ決まっていない。

問

浜田さんは市長就任時に、私が市長に就任したから「行革が10年遅れた」とは言わ

せない」と言っているが、いまでも遅れている。この問題は浜田市政の行革の試金石と思う。今までのように、公募せず任意指定をすれば行革で私と全面対決になるが、考えを聞きたい。

充分検討したい。

市民聴講生制度について

公明党

荒金 卓雄議員

問 「地域と学校の関わり」について、実施している事業は？

答 本年度から「放課後子ども教室」を中部地区公民館で、「学校支援地域本部事業」を浜脇中学、南小学校で実施している。学校と地域が連携・協働して「協育」を推進する事業だ。

問 学校側が地域に貢献する教育活動として、身近な小中学校の授業を、生涯学習の場として活用できないか

いか九州初の「町民聴講生制度」を開始した福岡県那珂川町を視察した。地域住民と児童・生徒が席を並べて勉強している。80代の高齢者が、英語・音楽など学びたい学科を聴講し、教科書等は自己負担、実費を支払えば給食と一緒に食べることもできる。初年度5名でスタートし、20年度は16名の聴講生に広がってきた。事業の成果として、聴講生が子どもとのふれあいで生きがいを見出す。児童・生徒は熱心な聴講生の姿勢に刺激を受ける。あいさつを交わし、教えあうなど世代間交流がある。教師は適度な緊張感で授業に臨むことができる。意識改革になる。新たな事業経費が発生しないので、ぜひ別府市でも導入を。

答 いくつかの自治体で、生涯学習の基礎を学ぶ場、再教育の機会提供など質の高い教育活動が期待できると聞いている。先進地の状況調査等を含めて充分研究をしてまいりたい。

観光協会関係の不適正会計疑惑を説明せよ

市民クラブ

内田 有彦議員

問

8月5日OBSニュースで観光協会が不適正会計ありとの報道がなされたが、別府市では観光関連事業に対し1億4千5百万円の補助、負担金を支出している。これらについて観光協会、まつり協会、観光ルネサンス事業、別府駅案内所運営に対する資料を入手し監査をしたが、多々不適正収支が行なわれていると思われる。更に、観光誘致受入促進協議会負担金をはじめ6事業会計の内容は全く解らない状況である。莫大な市税を投入し、観光浮揚を計るべく支出されたもので、このことは市民に、又、関係協力者にも事実を明らかにすべきと思う。それには、議会の最重要特権が自治法で与えられている100条調査権をも市の答弁いかんによつては発動すべきと思っている。

答

協会には充分指導して

いる。新年度予算ではこのような事のないよう申し述べている。また、云われている10事業会計の実態解明に向け当面は担当部課で行い、更に必要があると思えた場合は、市監査事務局への監査依頼も含め真相の解明をしていきたい。

市庁舎への光IP電話の導入を

公明党

穴井 宏二議員

問

通信コストの削減について市庁舎への光IP電話の導入について提案します。現在は電話番号を変えらなくそのまま使える様になっており利便性も向上しており通信コストの削減につながると思われるが、どの様にお考えか見解を伺いたい。

答

確かに議員指摘のとおり通話料が安くなるとお聞きしております。市としても過去に導入を検討したこともありますが、当時は新しい技術で問題

点もあつた為導入には至っておりませんでした。しかし経費が削減でき、電話がつながりにくいなど様々な問題点が改善されていけば段階的に考えていきたいと考えております。

問

以前は様々な問題点もあつたようだが、通信会社もサーバーやソフトウェアの処理能力のアップ、回線ルートの増加等に対応策を講じております。大分県では中津市が数年前から導入しており最近では松山市が導入、年間数百万円経費削減と聞いている。別府市としても積極的に導入へ向け取り組みが、当局の見解をお聞かせ願いたい。

答

別府市としましても導入されている市へ問い合わせをしてメリット、デメリット等研究し、前向きに導入へ向け考えていきたいと思っております。



全国市議会議長会より 永年勤続市政振興功労者表彰

去る5月28日開催の全国市議会議長会定期総会において、永年にわたり市政の振興に貢献された功績により、本市議会から、浜野弘議員、内田有彦議員、泉武弘議員が、議員在職25年の永年勤続として表彰



左から浜田市長、内田議員、浜野議員、泉議員、山本議長

されました。

6月定例会の初日の議事終了後、本会議場で議長から表彰状の伝達式が行われ、別府市より、記念品が贈呈されました。

傍聴のご案内

◆本会議はどなたでも傍聴できます。お気軽に議会棟4階へお越しください。

◆傍聴席は80席あり、車椅子席も7台分用意しております。

◆聴覚障がい者の方の傍聴については、手話通訳、要約筆記の対応をしております。

傍聴を希望される方は、傍聴日の3日前までに大分県聴覚障害者協会にお申し込みください。

〈申込先〉

大分県聴覚障害者協会

大分市大津町一丁目九番五号

TEL〇九七―五五一―二一五二

FAX〇九七―五五六―〇五五六

◆次の定例会は8月下旬を予定しております。

虚礼廃止に

ご理解ご協力を

公職選挙法に基づき、虚礼廃止の徹底を行っています。

別府市議会ではこの一環として、平成5年より、初盆のお供えには、御霊のご冥福を祈る「追悼あいさつ文」を持参して、お参りするにとっています。

政治家が、暑中見舞い状を出すことや、お中元などを贈ったり、お祭りへの寄附をすることは、法律で禁止されています。

また、有権者の皆様が、政治家に勧誘・要求することも法律で禁止されています。

市民の皆様には、趣旨をご理解のうえご協力をお願いいたします。